



編集・発行 大町市老人クラブ連合会 長野県大町市大町 3887 番地 大町市役所内 電話 (0261)22-0420 内線 415

緊急の対策は平時から

大町市社会福祉協議会 会長 奥村 剛



梅雨明けの時期は、大雨になることがあると言われていたが、七月に入り、台風七号と停滞

する梅雨前線の影響で、全国各地で豪雨となりました。西日本をはじめ広い範囲で川の氾濫や洪水、土砂災害などが多発的に発生、山が崩れ、濁流が町を飲み込みました。泥土に覆われ、変わり果ては被災地、多くの方が犠牲になり、甚大な被害となりました。猛暑の中で片付作業にも大変なご苦労があります。

犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げ、被災された方々に衷心よりお見舞いを申し上げます。

いつ起こるか、ひよっとしたら今日にも、明日にも発生するかもしれない災害時の対応は、一人ひとりの命にかかわることと言っても過言ではありません。少子高齢化が急速に進んでいく中で、自分自身では避難行動が困難な高齢者など、災害に対する弱者が年々増えている事実があります。また、

人口の減少により地域内の見守り力も弱まり、消防団員などの確保が困難になっていくことも懸念されています。若い人が少なく、高齢者同士で助け合う場面が増えるでしょう。

皆さんのお住いの地域で、外へ出る機会が少なくなり、家の中に引きこもりがちになるなど、隣近所との付き合いが希薄になっていく人が増えてはいませんか。一人暮らしや、ねたきり、認知症の方、障がいのある方が増えていませんか。高齢者の場合、自分が現在健康だとしても、非常時に何がハンディになって被災をすらかわらないこともあります。

非常時を想定した研修や訓練等を重ね、地域の中での要支援者の確認やお互いの役割などを確認することは大事なことです。加えて、災害時は、想定外の事態の発生や判断と行動に一刻の猶予もままならないときがあり、訓練等で学んだとおりにいかないことも往々にしてあることから、特に災害弱者への支援対策は、日常生活そのものの中にあると言われます。自然災害を避けることは出来ません

が、人命を守り、被害を最小限にすること、つまり「減災」は可能です。減災には、公的機関による「公助」とともに、自分の身を守る「自助」と隣近所が支える「共助」が要となります。そして要支援者には「共助」が求められます。お互い様の気持ちを大切に、日々の中でなにか困りごとがあつたら、できる範囲でいいので支援していく、力合わせです。まずは日頃から「声をかけあうこと」を励行しませんか。

西日本豪雨災害でも、住民同士による「非難しましよ」という声掛けがあったことで、「一緒に避難場所に行くことができ命が救われた。あと十分避難が遅れていたなら、助からなかったかもしれない。」と話されている被災者の声がありました。日頃から知り合えていたから、声掛けができたのだと思います。

大町市社会福祉協議会では、地域防災マップづくり、「小地域福祉ネットワーク活動」などの支援、関係機関による災害時連携研修、ボランティアセンターの運営研修などを実施しています。また、「共助」について学び、地域ぐるみで防災の大切さを理解するために、自治会や自主防災会をはじめ、地域住人のみなさんを対象にした災害サポーターの養成講座(出張講座)にも取り組んでいます。

第五十九回 大町市老人クラブ大会開催

去る五月二十三日、「のぼさう！健康寿命 担おう！地域づくりを」テーマに、サンアルプス大町の会場に約二百名の方々が参加し、盛大に大町市老人クラブ連合会による「老人クラブ大会」が開催されました。

老人クラブの歌、老人憲章を全員で唱和したあと、会長挨拶・来賓代表祝辞と続き、今年度の表彰のあと大会宣言が行われ式典は終了いたしました。休憩の後、手塚悦雄会長による「泉百寿会の活動紹介」があり、アトラクションへと続きました。今年は柳家圭花さんによる江戸落語を一時間にわたり堪能したあと、万歳三唱によりすべてが終了いたしました。



ご来場いただいたご来賓各位

当日来賓は次の方々です。ご祝辞の概要を掲載すべきところではあります。失礼ながら御芳名のみ掲載させていただきます。(敬称略)

- | | |
|-------------|-------|
| 大町市長 | 牛越 徹 |
| 長野県議会議員 | 諏訪 光昭 |
| 大町市議会副議長 | 高橋 正 |
| 大町警察署長 | 波多腰 功 |
| 大町市教育長 | 荒井今朝一 |
| 市社会福祉協議会長 | 奥村 剛 |
| 市民生児童委員協議会長 | 南澤 靖 |
| 市連合自治会長 | 中村 勝彦 |
| 大町地区社協会長 | 柳沢 英幸 |
| 常盤地区社協会長 | 川上 満 |
| 平地区社協会長 | 海川 明文 |
| 市老連顧問 | 鷺澤 徳司 |

アトラクション

今年には江戸落語をお聞きいただきました。大町市大黒町出身の将来が楽しみに二つ目落語家、柳家圭花さんに出演をお願いしたところ快く引き受けていただきました。落語の聞き方・楽しみ方の話を挿み一時間にわたり二つの演目をしていただきました。

慶びの受賞者各位(敬称略)

◎功労クラブ(2クラブ)

堀六日町シニア百寿会・下一百寿会

◎老人クラブ活動推進功労者(5名)

岡 洋(神栄町神栄会) 合津八重子(栄町栄寿会) 義盛(大平寿会) 深澤勝敬(大平寿会) 松下忠晃(石原スマイルクラブ)

◎百歳賀寿祝者(1名)

・宮崎正則(新行老人クラブ)

◎金婚(夫妻)組

大塚由男・邦江(栄町栄寿会) 高岡紀元・充子(須沼長生会) 宮澤征男・俊子(須沼長生会) 奥原嘉一・五月(下一百寿会) 太田幸彦・怜子(下一百寿会) 丸山博道・公子(下一百寿会) 中村忠政・園子(上一寿会) 川上 治・理子(清水百寿会) 中山英雄・みゑ子(清水百寿会) 菅澤 深・奎子(清水百寿会) 松原伸生・たか子(清水百寿会) 森江吉城・一代(清水百寿会) 浅見昌敏・侑子(仁科郷若草会) 海川重幸・あさ子(野口百寿会) 松坂勝美・高子(野口百寿会) 坂井欽吾・加奈子(野平寿会) 竹村美孝・かよ子(舟場シニアクラブ) 種山博茂・千恵子(新行老人クラブ) 竹折敬喜・末固(新行老人クラブ)

◎米寿者(48名)

宮田ゆき子(旭町百寿会) 伊藤まさえ(神栄町神栄会) 岡崎孝吉(鹿島荘老人クラブ) 松田よね子(南原町年長者会) 吉村節子(南原町年長者会) 富永 弘(南原町年長者会) 上條 豊(堀六日町シニア百寿会) 日堂必江(大原町老友会) 草嶋武信(栄町栄寿会) 高野正義(栄町栄寿会) 山本千夜子(栄町栄寿会) 小山勢津子(宮田町睦会) 牛越棟美(宮田町睦会) 中村 一夫(須沼長生会) 牛越 敏(須沼長生会) 宮尾愛子(下一百寿会) 栗林美栄子(下一百寿会) 奥原慎平(下一百寿会) 佐々木和子(下一百寿会) 小林英子(下一百寿会) 藤巻繁人(上一寿会) 松澤和夫(上一寿会) 高橋重子(上一寿会) 大羽行雄(清水百寿会) 大羽帛子(清水百寿会) 菅澤邦保(清水百寿会) 佐々木敬次(清水百寿会) 勝川嘉平(清水百寿会) 降旗 正(泉百寿会) 降旗悌次(泉百寿会) 下田眞壽雄(泉百寿会) 工藤成一(野口百寿会) 真島重雄(野口百寿会) 川浦寛智(野口百寿会) 西山次子(野口百寿会) 海川恒雄(西原南山会) 岡澤ちとせ(西原南山会) 宮本加富(西原南山会) 竹内 愛(山下福寿会) 中山千恵子(宮本健楽会) 小野鶴子(宮本健楽会) 遠藤清志(宮本健楽会) 塚田重郎(大平寿会) 竹本紀元子(大平寿会) 北沢許恵(大平寿会) 牛越なが子(大平寿会) 高橋 功(青具老人クラブ) 伊藤きみよ(青具老人クラブ)

平成30年度 老連視察研修

大相撲五月場所観戦記
文化部長 伊藤栄登

五月十六日(水)好天気の旅立ちです。総員四十一名、全員が揃ったのは安曇野市のスイス村。早苗田の安曇野平を車窓に観つつ、高速道路安曇野インターに乗ったのは八時三十分、バスは一路東京国技館を目指して発車オーライ!

富士見インターより前方に姿をみせる富士山も今日は雲で見えない。春は桃の花のピンクに染まった甲府盆地は、今は早生桃の収穫期か誘客の幟旗があちこちで風にゆれている。八王子を過ぎるころより渋滞の兆しあり、昼食時間間に合うか添乗員も心配したが都内に入ってからスムーズに運行でき、国技館近くの「八百八町華の舞」に到着できた。

私自身ちゃんこ料理は初めてなので



期待はしていたが、まあ家で食べている鍋料理くらいかと思っていたが、これがなんと旨いこと! 出汁の旨味は抜群、どのテーブルも鍋底まるみえ状態。「量がもう少し欲しかったねエ!」

国技館へ移動、歩いて十分ほどで正面入り口に。力士幟のはためく中、櫓太鼓に迎えられ入場。

二階A席の番号を頼りに着席する。イス席というので、パイプ椅子のイメージでいたが、何と大町市文化会館の中入りの取組までに買入物を済ませるのが観戦のコツとかで、女性十八名はお買物時間いっぱい満喫の様子でした。土俵は十両の取り組みも半ばで、人氣力士、貴ノ岩、貴源治、阿武咲と登

場ごとに大きな拍手、歓声で気分は高揚する。

三時四十分、幕内力士土俵入、横綱土俵入、審判員も交代し元横綱貴乃花が審判席に着席すると大歓声。やはり人氣は衰えていなかった。

中入り一番目、安美錦対栃煌山をスタートに結びの一番白鵬対魁聖まで二十番の熱戦が始まった。十番目の竜電対嘉風戦は取り直しとなり一番儲けた感じでした。竜電は山梨県出身で、この日中学校の修学旅行で立ち寄ったのか制服の五十人ほどが大声援。竜電も奮起したのか大健闘、私も胸に熱いものが湧いた一番でした。

長野県の期待の星、御嶽海は結び五番目前、栃ノ心と対戦。十八本の懸賞がかかったが、声を限りの応援も大型力士の前には手も出さず、足も出さず完敗。本日一番のお目当ての取り組みだっただけに、大変残念。横綱鶴竜対松鳳山

戦は前頭二枚目の松鳳山が勝って大金星。国技館に座布団が舞った。

結びの一番、式守勘太夫の軍配が白鵬に上がって取組終了。春日竜の弓取り式をみて席を立った。時に六時十四分。熱気と響き渡る大歓声も、そこにいるからこそ味わえる感動です。帰路の車中で

も余韻冷めやらす。話の花が咲きっぱなし。

車中での夕食も東京幕の内風二段重ね弁当で味も上々。美味しい夕食でした。復路は乗車場所ごとに停車し、大町市役所に午後十時四十五分無事到着しました。

家に籠りがちな高齢者の皆様、たまには声を一つにして大騒ぎするのもいいものですよ。旅行は高齢者のコミニケーションの場です。是非次回開催にはご参加お待ちしております。



長野県老人クラブ連合会 ブロック研修会に参加して

泉百寿会
手塚 悦雄

好天の六月十九日(木)市町村老人クラブ連合会、中信ブロック研修会が大町市のサンアルプス大町に、中信地区より会員百三十名が参集し開催されました。

大会開会行事では、あいさつに立った長野県老人クラブ連合会副会長 近藤定利氏は、超高齢化社会を迎え、高齢者が増加して、会員増強五カ年計画の最終年、現状維持を保ち、さらに増加するよう頑張つてほしいと話されました。続いて行われた研修では仁科幸知代県老連副会長(大町市老連副会長)の総合同会のもと、大町警察署員による「特殊詐欺、消費者被害防止・交通



事故防止」の講演があり、振り込み詐欺に遭うのは、六十歳以上が全体の65%、県では二億八千万円の被害があり「注意してほしい。」と懇願されました。

オレオレ詐欺の防止策は

- 1 留守番電話設定にする。
- 2 現金、キャッシュカードは何かがあつても渡さない。架空請求は無視し連絡しない。

交通事故は高齢者による注意事故が八百三十七件発生しており、運転するときは常に集中することが大切と話されました。

午後は、中信地区より「松本市東部第一クラブ」「安曇野市光長寿会」「白馬村沢渡シニアクラブ」「大町市泉百寿会」の4クラブの活動事例発表が行われました。発表会には県老連から、中信地区代表の副会長1名、理事2名、評議員3名が参加されました。また、事例発表助言者として、大町市老連会長内川三郎氏、長野市近藤定利県老連副会長さんからの助言をいただきました。事例発表は県老連から指定されたテーマ、地域の状況、単位クラブの状況、活動(事業)の取組状況、(内容を具体的に)問題点、課題等今後の対応について発表が行われました。

各地区の活動状況は、地域の歴史伝統も異なりますが、会員相互の親睦と健康づくり、社会奉仕活動が共通して行われているとのこと。課題等は少子化、高齢化社会で平均寿命は延びているが、健康寿命はついていけない。八十代になると、人間は運動能力が衰えてくる。大町市福祉計画を数字からみると、二十五年度に比べ二十九年度は六十五歳から七十四歳は五百四十二人増加、七十五歳以上は百四十人増加しております。将来人口推計では、二十九年度に比べ平成三十七年度は、六十五歳以上の高齢者は七百五十五人減少と推測されています。

あまり無理をせず、負担を軽くしてお互い協力し合う体制、次代を担う人材の育成等、この研修を参考にして会員増加に努めたいと思います。発表後はいきいきクラブ体操をして午後三時に閉会となりました。今回は大町市が

会場となったため、地元のお老連として会場づくり等、理事の皆さん、事務局長さん大変お疲れ様でした。



「意見発表概要」

松本市 東部第一高齢者クラブ
活動状況 友人・知人に参加を呼び

掛ける、高齢者クラブづくり。町内の清掃・花壇づくり等のボランティア活動。マレットゴルフ大会・親睦旅行・カラオケ大会等の健康福祉活動。
問題点 会員の高齢化に伴い会員の減少。会費だけでは賄いきれず、会費の値上げ検討中。

安曇野市 光長寿会

活動状況 お茶会・手芸教室の女性部活動。園芸部による花壇づくり活動。地域公共施設等の清掃を行う社会奉仕活動。親睦研修旅行の実施。
問題点 加入者の減少。役員のなり手が無い。

白馬村 沢渡シニアクラブ

活動状況 毎月4回実施のマレットゴルフクラブ活動。女性による集い・体操後の健茶会。公民館で毎週金曜日オープン「喫茶老人」などで少人数でも日々楽しんでる。

大町市 泉百寿会

活動状況 公民館で練習のゲートボールの大会参加等の体育部活動。カラオケ練習・発表会の文化部活動。健康講話健康体操を行う女性部活動。公民館周辺の掃除やプランターに植栽する愛花会活動

問題点 新規加入者の減少。役員固定化。他団体との兼務役もあり苦労が多い。

平成三十年度女性指導者 研修会に参加して

山下福寿会
内川 もとみ

七月十七日、木曾町文化交流センターにて、八十四名の参加者で行われた女性指導者研修会に、大町市老連十五名の仲間とともに参加し、楽しく勉強してきました。

講演「健康長寿のために 軽運動を中心として」と題して行われた一般社団法人健康福祉広域支援協会代表理事中村 崇 氏のとてともユニークで笑いつぱいのお話を聞き元気をもらいました。「デイサービスには行くことがないように、介護保険を使わないように、週二日は出掛ける習慣を作る病院に行っても待合室で大勢の人々と話をするように努める。頭を使って手足も動かす。ポジティブにとらえ何事も前向きに。」



という事でした。老人クラブのない所はボケる。多くの人と関わっている人はボケない、というお話は嬉しく思いました。次は手拭いを使っての体操を行いました。

た。ここでは、「教えてもらったことは人にも教える。楽しく笑顔で行うこと、いつも感謝の気持ちを大切にすること」とお話があり、とても大切なことだと改めて感じました。

午後は木曾町の活動報告でした。この地域のことに詳しく案内ができないことから、自分たちの街を知ろうと勉強会を始め、最初は歩いて行けるところから見えて廻り、回を重ねるうちにバスでも廻るようになり、とても充実した活動になったようです。また、発表もすっかりまとめであり、わかりやすく上手な発表でした。

この後は実技講習で、今回は縫わずにハサミを使って「簡単にできる布バッグ」でした。説明を聞いてから始める人、聞かずに見本をみて作る人、それぞれでした。題名には簡単とありましたが、実際には簡単ではなく、難しく感じました。七十代後半の人が多い講習会なので、もう少し作りやすい物にしていきたいと思いました。この研修会を通じて、仲間の和を広げよう、役員を快く引く受け、受けた人は研修会等にできるだけ参加するように心がけていきたいものだと思います。

上二寿会 活動状況紹介 楽しく活動しています

上二寿会女性部長
中島 節子

この度、上二寿会の活動を紹介する機会を与えていただきました。会員百二十五名が楽しく活動している様子を皆さんにお伝えできたらと思います。上二にはもう二十年余の昔から「ゆづり葉の会」という女性中心のボラ組織があり、地域福祉の一環として四季折々にごちそうを作って地域の高齢者や、お一人暮らしの皆様を招待し、喜んでいただいている集いがあります。

上二寿会、ゆづり葉の会の両方に入会している方が多く、ゆづり葉の会員が大勢寿会に入会した年もありました。ゆづり葉の会には上二の住民が集まれる場所をつくっていただいで、寿会員も毎回楽しみにしてお呼ばれしています。寿会員でない方も来られるので話をするのが楽しみです。



食事は、おはぎ会、歌謡ショー(赤飯)七夕会(まんじゅう)ちらし寿司会、そば会に招待されますが、一回は寿会の事業である交

通安全教室を入れさせてもらっています。安全器具の配布があり、特殊詐欺のお話もあります。それぞれの集まりの時には、保健婦さんの話、大町病院の医師の講話、落語、ゲームなど、毎回何らかのお楽しみや勉強を取り入れていただいています。

また、区の事業にも積極的に参加し、三代交流会には、ゲームのおとも、鱒の塩焼きの全面協力を続けています。参加はもとより防災訓練には、放水、救護の講習も受けられます。

さて、寿会として総会以後、約三カ月に二回のペースで評議員会が開かれ二十名の役員が集まります。会議の後には必ず「一杯」があり、おつまみの半分は女性役員の手作りです。鶏肉の味噌ニンニク漬け焼き、畑の憎きアカザの酢味噌あえ、ヘチマの鉄火などその時々物で作っています。

九月の全国一斉社会奉仕の日には、上二グラウンドの草取りをみっちり二時間行い、その後、一昨年は釜揚げうどんで舌鼓を打ち、昨年はお粥を作りました。大鍋に米から煮たて、熱々を味噌漬け、ふりかけ、つくだ煮を混ぜて食べると、事のほか「ウマイー」と評判で鍋のそこまで平らげるといふ人気がぶりです。(つづく)

体育祭のあり方について



体育祭につきましては、高齢者の健康管理、体力維持といった観点から老連の伝統的な事業の一つとして続けられており、今年で四十四回目を迎えるようとしております。また、競技種目についても勝敗にとらわれず、頭と体をうごかして、自由に参加できるものとしており、心身の健康増進活動の一環としてレクリエーションを最大の目的として行っていました。また、市内を七地区に分け優勝を争い、着順に一

喜一憂する楽しさも兼ね備えております。

ところが近年、会員の減少や高齢化に伴い、体育祭が負担に感じるといった意見が聞こえるようになりました。

選手を集めるのに苦労するようになり、特定の人が何回も参加しなければならぬような地区が増えてきたり、動員がかかって会場に行ったものの出番がなかったなど、クラブによって様々な問題があるようです。このようことから近年、体育祭を理由に老連を脱退するクラブも出てきております。本来であれば楽しみにされ、有意義な行事であったはずの体育祭が残念です。

このようなことから七月四日臨時の会長・保体部長会が開催され今後のより良い体育祭のあり方について検討がなされました。

競技時間の短縮や、競技種目の検討、採点方法など幾つもの問題点が挙げられ検討が行われました。しかし、大まかな方向は示されましたが、結論を得ることは出来ませんでした。今後は保体理事、地区代表保体部長により継続審議をすることとなりました。

早急にすべての問題を解決することは難しい事ですが、徐々に変更を加える時代にあった、参加者全員が楽しめる体育祭を目指して検討を進めてゆきたいと思っております。今後とも、皆様のご意見ご協力をお願いいたします。

市老連 本年度の事業

月	事業内容	月	事業内容
4月	理事会、単位クラブ会長会 3部会合同会議(保体・文化・女性) ノルディックウォーキング(4月～10月・12回) 会計監査	10月	第47回マレットゴルフ大会 長野県老人クラブ大会(上田市) 第44回老人体育祭 ノルディックウォーキング青木湖一周(最終) 中間会計監査 友愛の集い
5月	第59回大町市老人クラブ大会 視察研修	11月	文化祭作品展 小銭募金(4月から11月)
6月	会報編集委員会 第75回ゲートボール大会 県老連中信ブロック研修会(大町市) わら工芸展示	12月	会報編集委員会 理事会・単位クラブ会長会 女性部ボランティア活動 一人暮らし会員訪問
7月	県老連女性指導者研修会(木曾町) 第46回マレットゴルフ大会	1月～3月	水中運動教室(10回)
8月	理事会、単位クラブ会長会	1月	市老連役員研修会 ゲートボール講習会(10回) 女性部視察研修
9月	保体部長会 第76回ゲートボール大会 女性部研修会 寝たきり会員訪問 「社会奉仕の日」一斉清掃(9/20)	2月	女性部福祉活動 カラオケ発表会
		3月	理事会・単位ブロック会長会
定期(教室)	和紙絵の会24 短歌13 カラオケ教室48 わら工芸12 健康教室24 (数字は開催回数)		
通年	健康増進活動事業等介護予防教室、健康講座(単位クラブ)、会員加入促進活動		

平成29年度大町市老人クラブ連合会 一般会計決算書(概要)

・収入決算額 2,924,921円 ・支出決算額 2,378,348円 ・差引残高 546,573円

◎収入の部

(単位：円)

項目	29年度予算額	29年度決算額	説明
1. 会費	594,000	544,800	会費1606名 個人会費63名
2. 補助金	1,102,000	1,086,750	市1,021,750円 社協50,000円 県老連15,000円
3. 委託金	500,000	500,000	体育祭300,000円 水中運動200,000円
4. 諸収入	90,000	89,293	還元金、広告料、水中運動参加費、利息他
5. 繰越金	704,000	704,078	平成28年度繰越金
合計	2,990,000	2,924,921	

◎支出の部

項目	29年度予算額	29年度決算額	説明
1. 会議費	130,000	84,700	理事会、専門部会、編集委員会等会議費
2. 事務費	301,000	232,537	事務用品、通信費、印刷費、慶弔費等
3. 旅費交通費	230,000	194,540	出張旅費、理事費用弁償費
4. 事業費	2,020,000	1,605,571	老連大会費、研修費、文化・体育行事費等
5. 負担金	200,000	161,000	県老連会費141,000円 友愛の集い20,000円
6. 積立金	100,000	100,000	
7. 予備費	9,000	0	
合計	2,990,000	2,378,348	

平成30年度大町市老人クラブ連合会 一般会計予算書(概要)

・収入予算額 2,642,000円 ・支出予算額 2,642,000円 ・差引残高 0円

◎収入の部

(単位：円)

項目	30年度予算額	29年度予算額	説明
1. 会費	540,000	594,000	会費 個人会費
2. 補助金	986,000	1,102,000	市支出金 社協補助金
3. 委託金	500,000	500,000	市委託事業支出
4. 諸収入	70,000	90,000	還元金、広告料他
5. 繰越金	546,000	704,000	
合計	2,642,000	2,990,000	

◎支出の部

項目	30年度予算額	29年度予算額	説明
1. 会議費	100,000	130,000	理事会、専門部会、編集委員会等会議費
2. 事務費	316,000	301,000	事務用品、通信費、印刷費、慶弔費等
3. 旅費交通費	210,000	230,000	出張旅費、理事費用弁償費
4. 事業費	1,745,000	2,020,000	老連大会費、研修費、文化・体育行事費等
5. 負担金	170,000	200,000	県老連負担金、市集い負担金
6. 積立金	100,000	100,000	
7. 予備費	1,000	9,000	(次年度繰り越しを見込む)
合計	2,642,000	2,990,000	

スポーツ大会の結果

第七十五回 ゲートボール大会

六月一日(金)運動公園陸競技場

- 優勝 仁科郷若草会 三勝一敗(19)
- 準優勝 松崎チーム 三勝一敗(17)
- 三位 宮本倶楽会 三勝一敗(11)
- 四位 神栄町神栄会 三勝一敗(8)
- 四位 上一寿会 三勝一敗(8)

第四十六回 マレットゴルフ大会

七月十三日(金)運動公園マレットゴルフ場 約九十名参加

- 優勝 男子 北コース 松倉 秀男 (神栄町) 67 67
- 南コース 寺島 勝 (西山) 67
- 準優勝 男子 北コース 竹村 一明 (上二) 73
- 南コース 伊藤 甚弋 (清水) 70
- 三位 男子 北コース 清水 泉 (堀六日町) 75
- 南コース 太田 廣重 (北原町) 70
- 優勝 女子 北コース 竹村いく子 (上二) 70
- 南コース 北村 文子 (大新田町) 60
- 準優勝 女子 北コース 斎藤 京子 (宮本) 73
- 南コース 小林 元子 (北原町) 73
- 三位 女子 北コース 宮沢 悦子 (中原町) 77
- 南コース 高島 長子 (北原町) 76
- ホールインワン賞 藤井 昇 (宮田町)

事務局日誌

30年4月~7月

4月 6日	八坂支部総会	内川会長	明日香荘
12日	会計監査		市役所
17日	三部長会議		サンアルプス大町
19日	補助金申請・報告説明会		市役所
24日	ノルディックウォーク①	18名参加	運動公園
26日	第1回理事会・会長会		市役所
5月 8日	ノルディックウォーク②	24名参加	運動公園
16日	視察研修 41名参加		東京 両国国技館
22日	ノルディックウォーク③	21名参加	アヤメ祭り周辺
23日	第59回大町市老人クラブ大会	200名参加	
6月 1日	第75回ゲートボール大会	110名参加	陸上競技場
5日	老連だより97号編集委員会		市役所
5日	ノルディックウォーク④	19名参加	運動公園
6日	平老人クラブ連合会総会		内川会長
11日	わら工芸教室展示	25日まで	ザ・ビッグ大町店
19日	県老連ブロック研修会	20名参加	サンアルプス大町
20日	ノルディックウォーク⑤	雨天中止	運動公園
7月 3日	ノルディックウォーク⑥	11名参加	
4日	臨時 会長・保体部長会議		市役所
7日	大町市暴力追放・交通安全市民大会		事務局
13日	第46回マレットゴルフ大会	85名参加	運動公園
17日	女性指導者研修会	15名参加	木曾文化交流センター
19日	社地区敬老会	内川副会長	黒部観光ホテル
22日	常盤地区敬老会	会長	アプロード
24日	ノルディックウォーク⑦		運動公園
26日	体育祭検討会議		市役所

編集後記

焼けつくような暑さです。みなさんいかがお過ごしですか。お見舞い申し上げます。今年こそよき里山の盛夏であってほしいと念じていたところですが、残念ながら西日本では梅雨の豪雨によって甚大なる大被害を受けました。防ぎようのない自然災害と言えども恨めしく、二百名以上の犠牲者の方々のご冥福を祈るとともに、大被害を受けられた被災者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

お陰様でふるさと大町は被害報告もなく有難いことでした。しかし、ここ数年、夏セミの合唱は全く聞こえず、キリギリスの涼やかな響きもない故郷になっています。異常気象が迫ってきているように感じられ心配になります。

今号では、大町市社協会長奥村 剛様より万一の災害直面に備えて、自助・共助の大事さと心構えの大切さについて呼びかけをいただきました。お礼申し上げます。

恒例の老連「体育祭」は、時代の変遷に伴い、種目・内容等の検討が必要だとの報告もありました。まだ酷暑は続くようです。どうぞご自愛ください。

(編集委員長 堀田博文)